

※当院の研究倫理審査委員会（IRB）に承認された研究

承認番号	研究名	研究期間	担当者	担当者連絡先	研究内容 PDF
292-166	子宮頸がんに対する根治的放射線治療における適切な放射線治療法についての後ろ向き観察研究	平成 30 年 1 月 11 日 ～平成 31 年 3 月 31 日	染谷正則	011-611-2111（内 線 35350）	
(25-191) 292-1179	腹部・骨盤部への放射線治療を行う癌患者の治療効果および有害事象発症の予測に 関与するタン パク機能、RNA 発現の解析研 究	平成 26 年 5 月 12 日 ～平成 3 3 年 3 月 31 日	染谷正則	011-611-2111（内 線 35350）	
23-179	限局期前立腺癌根治的放射線治療後の放射線直腸炎発症に関与するタンパク機能、RNA 発現、および遺伝子多型の観察研究	平成 27 年 3 月 31 日 で終了	染谷正則	011-611-2111（内 線 35350）	
292-36	子宮頸癌における放射線治療成績に関する後ろ向き観察研究 Ir-HDR-RALS 施	平成 29 年 7 月 13 日 ～平成 32 年 9 月 30 日	染谷正則	011-611-2111（内 線 35350）	

	行後の治療成績および有害事象と治療計画CTでの線量分布との関連にて				
(25-164) 272-1016	JROSG12-2 日本人の頭頸部癌患者におけるCetuximabを含む治療の観察研究	平成26年 2月25日 ～平成28年 12月31日 (終了)	染谷正則	011-611-2111 (内線 35350)	
282-248	乳癌における術後放射線治療成績に関する後ろ向き観察研究、乳癌生検標本を用いた放射線治療効果に関与する蛋白の発現と治療効果および予後に関する検討	平成29年 4月13日 ～平成31年 3月31日	北川未央	011-611-2111 (内線 35350)	
(272-47) (282-1112) 292-3281	中咽頭癌における放射線治療成績に関する後ろ向き研究 中咽頭癌生検標本を用いたp16蛋白発現とDNA二重鎖切断	平成27年 8月26日 ～平成30年 3月31日	福島悠希	011-611-2111 (内線 35350)	

	修復に関わる 蛋白発現の関 連性や治療効 果、および予後 に関する解析				
262-175	子宮頸癌にお ける術前放射 線治療成績に 関する後ろ向 き研究、子宮頸 癌生検標本を 用いた放射線 治療効果に関 わる蛋白の発 現と治療効果 および予後に 関する検討	平成 27 年 4 月 9 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	土屋高旭	011-611-2111（内 線 35350）	

※当院の IRB 審査がない研究の学会・研究会報告

研究名	研究内容の概要	対象患者	治療/検査の時期	担当者	担当者連絡先
肝胆膵疾患の造影超音波の有用性の研究	肝・胆・膵疾患疾患造影超音波の有用性を検討	当科で肝・胆・膵疾患に対して造影エコー検査をされた方。	2007年8月1日から現在まで	廣川直樹	nhirokaw@sapmed.ac.jp
Real-time Virtual Sonography による中心静脈穿刺の経験-安全な穿刺ラインの考案-	中心静脈穿刺がより安全に行える方法を検討	当科で中心静脈カテーテル挿入、中心静脈ポート留置術をされた方	2017年9月25日から 2017年10月6日まで	廣川直樹	nhirokaw@sapmed.ac.jp
早期喉頭癌の治療成績	早期喉頭癌に対する放射線治療の線量・分割方による治療成績を後方視的に比較検討する。 2018/2/24 北海道頭頸部研究会で報告	当科で根治的放射線治療を施行した早期声門癌(I/II期)の方	2008年1月～ 2016年12月	中田健生	kensei@sapmed.ac.jp
救急 IVR と支援画像	救急 IVR に求められる画像を検討	当科で緊急疾患に対する IVR 治療介入された方	2008年4月から現在まで	齊藤正人	saitomasa@sapmed.ac.jp
Case report: enhanced ultrasonography for endoleak detection after direct sac puncture.	EVAR 後 Type II エンドリークに対する治療評価としての造影 US の有用性を検討	当科で EVAR 後エンドリーク治療を行い造影 US で評価された方	2017年4月から現在まで	齊藤正人	saitomasa@sapmed.ac.jp
EVAR 後エンドリークに対する直接穿刺による治療介入後の評価として造影エコー	EVAR 後 Type II エンドリークに対する治療評価としての造影 US の有用性を検討	当科で EVAR 後エンドリーク治療を行い造影 US で評価された方	2017年4月から現在まで	齊藤正人	saitomasa@sapmed.ac.jp

を用いた1例					
--------	--	--	--	--	--